

病児保育室「あんず」のチョットアノネ

No. 88 (2024. 9. 20.)

テーマ: 新しいインフルエンザワクチン

フルミスト点鼻液(経鼻インフルエンザワクチン)

10月1日から新しいタイプのインフルエンザワクチン(フルミスト点鼻液)の使用が認められました。発売は10月中旬頃になり、それ以降に接種が開始されます。このワクチンはインフルエンザウイルスを弱毒化した生ワクチンで、注射ではなく鼻に噴霧するワクチンです。ウイルスの入り口である鼻に噴霧することにより鼻の粘膜に直接免疫をつけ、血清にも抗体をつけます。このワクチンは2003年からアメリカで、2011年からはヨーロッパでも広く使用されています。接種対象者は2歳~19歳未満で、専用のスプレー器具を使って鼻に噴霧します、接種回数は1回です。医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。



フルミスト点鼻液



鼻へ噴霧

フルミスト点鼻液の長所

- ① 痛みがない…注射を嫌がる子どもさんにも負担が少ないワクチンです。
- ② 1回で済む…従来の注射型のワクチンでは、13歳未満は2回接種が必要ですがフルミストは1回です。
- ③ 予防効果が長い…予防効果は6か月以上、約1年間続きます。また、従来のワクチンよりも高い予防効果が期待できるといわれています。発症を100%防ぐことはできませんが重症化予防ができます。

フルミスト点鼻液の短所

- ① 風邪様の症状が出る…接種後1週間以内に、30~40%の人に鼻汁、咳の症状や発熱などが見られることがあります。1週間ほどでおさまります。
- ② インフルエンザ抗原迅速検査が陽性になる…接種後約2週間は陽性になる可能性があります。
- ③ 接種前後は抗インフルエンザ薬を控える…接種前48時間~接種後2週間はタミフルなどを服用するとフルミストの効果が減弱する可能性があります。

フルミスト接種時の注意点

鼻閉があると効果が不十分になる可能性があります。喘息でステロイド経口薬を服用したり、免疫抑制剤を服用したり、アスピリンを服用している場合は接種を控えて下さい。フルミストには卵の成分とゼラチンが含まれているため、重度の卵アレルギーやゼラチンアレルギーがある場合は接種を避けて下さい。また接種後1~2週間は免疫不全や免疫抑制剤を使用している人との接種は避けて下さい。

今年度はワクチン数が少ないため、医療機関の在庫が無くなり次第、接種終了になります。

現在流行している病気は何ですか？

宮城県内では：第1位	新型コロナ、	第2位	手足口病、	第3位	溶連菌感染症
亶理郡内では：第1位	新型コロナ、	第2位	手足口病、	第3位	感染性胃腸炎

大友医院病児保育室「あんず」より

やっと猛暑が治まってきました、そして3週間連続で新型コロナウイルス感染症が減少し、手足口病もピークを過ぎたようです。でも安心はできません、宮城県内ではインフルエンザの患者さんが発生しています(県北や仙台で)。季節の変わり目は体調を崩しやすいので体調管理に注意してください。



病児保育室「あんず」専用電話 0223-35-6455